

第14回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

会議名：第14回江南市市民協働・市民活動推進協議会

日時：平成26年7月9日（水） 午後3時～5時30分

場所：市役所3階 第4委員会室

委員：出席委員10名

加藤 幸治：会長（学識経験者）

後藤 俊夫（公募市民）

柴田 熙（公募市民）

岩根 佐代子（市民活動団体関係者）

小椋 雅江（市民活動団体関係者）

斉藤 雅治（市民活動団体関係者）

藤田 泰雄（市民活動団体関係者）

長谷川 清（区・町内会等関係者）

伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会職員）

坪内 俊宣（市職員）

事務局：片野 富男（市長政策室長）

浅野 武道（地域協働課協働推進グループ）、

加納 康陽（地域協働課協働推進グループ）

傍聴者数：0人

資料1 地域まちづくり補助事業について

- ・ひろげよう！展開コース（概要）
- ・つながろう！連携コース（概要）

資料2 NPO・ボランティア講座チラシ

- ・「そうだ！交流からはじめよう」
- ・「みんなでつくる補助金申請書の書き方講座」

資料3 地域まちづくりフォーラムについて

- ・平成25年度地域まちづくり補助事業公開報告会（概要）
- ・「空き家を生かすまちづくり」講演会チラシ

資料4 事業型NPO講座「ワークショップバスツアー」チラシ

資料5 みんなのパレット

資料6 アダプトプログラム集計

資料7 絆づくり実行委員会について

- ・「絆ファイル」（概要）
- ・「ひだまりカフェ」（概要）

資料8 市民・協働ステーションについて

- ・情報センター利用者数

資料9 次期の推進協議会の委員の公募について

| | |
|----|-------------------|
| 議題 | 1、平成 25 年度の事業について |
| | 2、市民・協働ステーションについて |
| | 3、その他 |

はじめに、

市長政策室長挨拶

今年度より地域協働課は市長政策室の所管となりました。これまで市民協働ステーションの運営等についてさまざまなご意見をいただきありがとうございました。

今後ともより良い市民協働の推進のため、よろしく願いいたします。

市民協働・市民活動推進協議会長挨拶

今回で任期中最後の会議となります。平成 25 年度の報告と次年度の方向付けをしていきたいと思っておりますので委員の皆さんにはご意見をいただきますようお願いいたします。

1. 平成 25 年度の事業について

【地域まちづくり補助事業】

○事務局より、採択事業の活動について報告がありました。

| | |
|-----|--|
| 委員 | 実際、展開されている状況についてみる事ができない。いつどこでやっているのかアナウンスがあるといいと思う。 |
| 事務局 | 今年度実施団体のすいとぴあ体操クラブでは、チラシを作成し各所に配布しようと計画したが、予算的に難しかったという。団体のホームページでは公表していると聞いている。 |
| 委員 | その団体主催のラジオ体操に参加したが、やり方や PR 方法をもう少し考えたほうがいいと思う。子ども会や地元話すことも有効だと思う。 |
| 委員 | イベントは人集めが一番大変。PR 活動が難しいので悩みどころである。 |
| 委員 | 情報共有や PR については行政の取り組みも必要だが、市民活動団体が他の団体や地域の区とのつながりも必要だと思う。 |
| 委員 | 広報に載せて満足しているのでは PR 不足。人が来る工夫が必要。例えば、景品を出したり。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 広報は満遍なく情報を出せるが、ピンポイントにほしい人のところには届かない。少しずつ団体同士がつながっていくことで出来るようになっていけばいいと思う。 |
| 委員 | 昨年、申請の相談に初めて参加したが、これから盛り上げていこうという団体を見る事が出来て楽しかった。 |
| 委員 | 補助期間が過ぎた事業はどうなっているのか。補助の3年以後は自分たちで継続できるようになるはずだがやらなくなってしまっているものがあるのではないかと。補助期間が3年というのが妥当なのかどうか。 |
| 事務局 | 定期的に団体に声をかけ確認している。補助が続けば事業を継続出来るという団体は確かにあると思う。 |
| 委員 | 補助をもらった団体として、補助期間後も事業を継続しており、現在は厚生病院から補助をもらうことで事業を継続している。 |
| 委員 | 道路清掃など地域に根ざした美化活動は、企業にメリットがないと協賛してくれない。 |
| 事務局 | 企業でISOのために会社の周辺清掃（アダプト活動）をされることもある。 |
| 委員 | 道路に花を植えることに抵抗がある。家の前をきれいにすることは当たり前だと思う。空き家対策も進めてほしい。 |
| 事務局 | 空き家は「取り壊す」というより、「活用する」という視点で臨みたい。他市においてはグループホームに活用するという事例もある。 |
| 会長 | 岐阜県でも対策をしようとしている。可児市でも空き家が出てきている。不動産業者にお願いし、空き家を貸し出せるようにしている。空き家はこれからもっと多くなると思う。 |

【NPO・ボランティア講座】

○事務局より、講座とフォーラムについて報告がありました。

| | |
|-----|---|
| 委員 | 3月15日のフォーラムに参加できなかったのですが、内容のわかる記録があるとありがたい。 |
| 事務局 | パレットの中に少し掲載している。 |

【事業型 NPO 支援講座】

○事務局より、ワークショップとバスツアーについて報告がありました。

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 参加者が少なかった。参加者から 2 月は寒いという意見をいただいているので、時期を考えたい。今後の開催時期や内容について意見をいただきたい。また、参考になる事業者があれば教えていただきたい。 |
| 委員 | 前もっていろいろな団体に話をして参加してもらえるようにする必要があった。 |
| 委員 | 講座に参加しても、その後の育成の場がない。活動する場をどのように見つけるかが必要だと思う。そのために、行政にも支援していただきたい。 |
| 委員 | 団体を立ち上げるには支援する人が必要だと思う。社協はボランティア相談を受ける。社協が持っている情報はご相談いただければ提供できる。 |

【アダプトプログラム】

○事務局より、活動内容と活動場所の地図について報告がありました。

| | |
|-----|--|
| 委員 | ポイ捨てが多い。自分が住んでいる地域だけでもきれいにしていきたい。 |
| 委員 | 昔は五条川の清掃をやっていたが、今はやっていないのか。 |
| 事務局 | 川の周りは清掃活動しているが、川の中は危険を伴うためやっていない。また、登録がないからやっていないというわけではなく、自分の家の前をきれいにしている方は大勢いると思う。 |

【絆づくり江南実行委員会】

○事務局より、活動内容について報告がありました。

| | |
|----|---|
| 委員 | 今のところはさまざまな団体がつながりあえる先駆けとして活動しているが、なかなか成果が出ていない。長い目で見ていただきたい。 |
| 委員 | 団体同士がつながりあっていくのはいいと思う。何かわかりやすいメリットがあるといいと思う。 |

2. 市民・協働ステーションについて

○事務局より市民・協働ステーションの利用について説明がありました。

| | |
|-----|--|
| 委員 | 協働ステーションはコミュニケーション、交流の場として利用するものと考えている中、「静かに利用するように」と言う人がいるが、元々の利用とは違うと思う。 |
| 事務局 | 交流の場、話をする場として考えている。ただし、騒いでいるようなら注意することは必要だと思う。 |
| 委員 | 体育館の立替に伴い、You・輝の場所は、どのようになるのか。 |
| 事務局 | 新しい体育館の案には You・輝の場所は今のところない。情報センターの2階に移すことも検討されている。協働ステーションのスペースとの兼ね合いがあるので、今後の市民協働・市民活動推進協議会の議題としていきたい。 |
| 委員 | ギャラリーを市役所に移すことは出来ないのか。 図書館に子どもたちが勉強する場所はないので、情報センターで勉強することは仕方がないと思う。 |
| 事務局 | ギャラリーコーナーはセンター開館以来あり、定着している。 また、市役所内にギャラリー用のスペースを確保することも難しい。 |

3.その他

| | |
|-----|--|
| 委員 | 平成26年6月29日に江南の市民活動を支援する会が発足したが、現在、委員の方の自宅を所在としているため、活動拠点となる場所を市として用意してほしい。 |
| 事務局 | 江南市市民協働・市民活動推進協議会の次期委員を2名公募しているため、是非、回りの方に声を掛けてほしい。 |

市民協働・市民活動推進協議会長挨拶

これまで会長として務めてまいりましたが、今期までとなります。来期は愛知江南短期大学より新たな会長が推薦されることとなりますので、これまで委員の皆さんにはお世話になり、本当にありがとうございました。